

日本教育メディア学会
学 会 通 信 第 40 号

学会ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/jaems/>
2006年9月19日発行

事務局
〒184-8501
京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学教育学研究室内
電話:042-329-7344
E-mail:shijaems@u-gakugei.ac.jp

2006年度定例総会開催通知（会告）

本号に詳細があるように、北海道教育大学における第13回年次大会にあわせ、下記のとおり、2006年度日本教育メディア学会定例総会を開催致します。会員各位のご参加をお願い致します。なお、ご参加のない場合には、同封の委任状にお名前・議案の賛否・ご捺印の上、50円切手を貼って、10月6日（金）必着で、学会事務局あて折り返しご投函ください。

記

会員各位

2006年9月15日

日本教育メディア学会
会長 生田 孝至

1. 日 時 : 2006年10月15日（日） 11:15~12:00 （第2日目）
2. 会 場 : 北海道教育大学（札幌校）講義棟3階（305教室）
3. 第1号議案（2005年度事業報告及び収支決算承認の件）
 - ①機関誌発行
 - ②年次大会の開催
 - ③学術交流等一研究会の開催
 - ④理事選挙結果
 - ⑤2005年度（平成17年度）収支決算（案）、監査報告（2ページ参照）
4. 第2号議案（2006年度事業計画及び収支予算承認の件）
 - ①機関誌発行
 - ②年次大会の開催
 - ③学術交流等一研究会の開催
 - ④2006年度（平成18年度）収支予算書（案）（3ページ参照）
5. 第3号議案 ・新理事（4ページ参照）、会長、副会長、監事承認の件
6. 新会長、副会長挨拶及び総務担当理事、会計担当理事、研究会担当理事、編集担当理事紹介
7. 表彰「坂元彦太郎記念教育メディア研究奨励賞」審議経過と結果報告
8. 2007年度年次大会
9. その他

第1号議案

日本教育メディア学会平成17年度会計収支決算（案）

自：平成17年4月1日～至：平成18年3月31日

(1) 収入の部

収入項目	収入額	備考		
	円			
繰越金	718,564	平成16年度会計から繰り入れ		
正会員会費	1,533,000	¥7,000	219人	336人×納入率65%
学生会員会費	40,000	¥4,000	10人	16人×納入率63%
団体会員会費	100,000	¥50,000	2団体	7団体×納入率29%
購読会員会費	14,000	¥7,000	2会員	8会員×納入率25%
過年度正会員会費	252,000	¥7,000	36人	平成14～16年度135人×納入率27%
過年度学生会員会費	4,000	¥4,000	1人	平成14～16年度16人×納入率6%
過年度団体会員会費	50,000	¥50,000	1団体	平成14～16年度6団体×納入率14%
新入会員会費	186,000	正会員@9000円×16人、学生会員@6,000円×7人		
学会費前納分	231,000	平成18年度学会前受金32（含、正会員23,学生会員1,新入会員8）		
助成金	0	助成団体から国際研究会への助成金		
雑収入	163,500	『教育メディア研究』別刷、会誌		
利子	25	銀行口座および郵便貯金口座利子		
計	3,292,089			

(2) 支出の部

科目	当初予算額	支出額	増減額	備考
	円	円	円	
通信運搬	100,000	49,720	50,280	学会誌・別刷・学会通信-郵送費
消耗品	50,000	27,418	22,582	事務用品
設備・什器	50,000	67,792	-17,792	コンピュータ周辺機器(含、パソコンリース代)
印刷製本	1,500,000	357,982	1,142,018	学会通信(3号分)印刷・製本・発送費
会議費	150,000	73,170	76,830	理事会・編集委員会・事務局会議費
借損料	20,000	0	20,000	定例理事会・編集委員会会議場借損料
旅費	200,000	0	200,000	常任理事会・常任編集委員会・事務局旅費
諸謝金	400,000	302,500	97,500	役員会補助謝金・事務局員手当
委託費	790,000	790,000	0	年次大会(東京学芸大学)・研究会(3回)
雑費	10,000	1,364	8,636	振込み、送金手数料
返還金	-	21,000	-21,000	大会参加費事務局誤払分2人
予備費	374,564	0	374,564	
繰越金	-	1,601,143		平成18年度会計に繰入れ予定
計	3,644,564	3,292,089		

(3) 坂元彦太郎記念教育メディア研究奨励賞特別会計決算

平成15年度からの繰越金(含む利子)	300,008
平成16年度の研究奨励賞金(支出額)	100,000
銀行利子	1
繰越残高	200,009

収支決算書は、太田太・小町真之両監事の会計監査を受け、適正と認められた。

第2号議案

日本教育メディア学会平成18年度会計予算(案)

自：平成18年4月1日～至：平成19年3月31日

(1) 収入の部

収入項目	収入予定額	備 考
	円	
繰越金	1,601,143	平成17年度会計から繰り入れ
正会員会費	1,477,000	¥7,000 211人 352人×60%納入率
学生会員会費	56,000	¥4,000 14人 23人×60%納入率
団体会員会費	200,000	¥50,000 4団体 7団体×60%納入率
購読会員会費	35,000	¥7,000 5会員 8会員×60%納入率
過年度正会員会費	413,000	¥7,000 59人 平成15～17年度99人×60%納入率
過年度学生会員会費	36,000	¥4,000 9人 平成15～17年度15人×60%納入率
過年度団体会員会費	250,000	¥50,000 5団体 平成15～17年度8団体×60%納入率
新入会員会費	90,000	¥9,000 10人
雑収入	300,000	『教育メディア研究』別刷(3号分)、会誌(10冊)
計	4,458,143	

(2) 支出の部

科 目	予算額	備 考
	円	
通信運搬	150,000	学会誌・別刷・学会通信・理事選挙文書・会員名簿-郵送費
消耗品	50,000	事務用品
設備・什器	50,000	資料整理棚、コンピュータ周辺機器
印刷製本	2,300,000	学会誌/別刷(3号分)・学会通信(3号分)・理事選挙文書・会員名簿-印刷・製本・発送
会議費	100,000	理事会・編集委員会・事務局会議費
借損料	50,000	定例理事会・編集委員会議場借料
旅費	200,000	常任理事会・常任編集委員会・事務局旅費
諸謝金	520,000	英文校閲謝金・役員会補助謝金・事務局員手当
委託費	790,000	年次大会(北海道教育大学)・研究会(3回)
雑費	5,000	振込・送金手数料
予備費	243,143	平成19年度会計に繰り入れ予定
計	4,458,143	

(3) 坂元彦太郎記念教育メディア研究奨励賞特別会計予算

平成17年度からの繰越金(含む利子)	200,009
平成18年度の研究奨励賞金(支出予定)	100,000
繰越残高	100,009

第3号議案

新理事、会長、副会長、監事承認の件

新理事候補者（案）

[北海道・東北地区]

浦野 弘、大河原 清

[関東地区]

赤堀 正宜、市川 昌、市村 佑一、宇佐美 昇三、小笠原 喜康、向後 千春、
小平さち子、佐賀 啓男、坂元 昂、佐々木 輝美、篠原 文陽児、高栞 康雄、
中野 照海、堀江 固功、村野井 均、和田 正人

[中部地区]

生田 孝至、岡部 昌樹、黒田 卓、山西 潤一

[近畿地区]

浅井 和行、木原 俊行、久保田 賢一、黒上 晴夫

[中国・四国地区]

三宅 正太郎、村川 雅弘

[九州地区]

鈴木 克明、園屋 高志

（以上、30名：アイウエオ順、敬称略）



ご挨拶

<第 13 回年次大会開催にあたって>

会員の皆様

日本教育メディア学会 第 13 回年次大会にお越しいただき心より歓迎申し上げます。

北海道教育大学札幌校（あいの里キャンパス）を主会場に開催される年次大会の準備を進めてまいりました。ご案内のように、今回、札幌市内で開催される第 57 回放送教育研究会全国大会と連携し、初めての試みとして共同企画の開催を実現することができました。全国放送教育研究会連盟様、日本放送協会様には大変ご協力をいただいたことに改めてお礼申し上げます。

教育メディアに関する今日的な関心事であるテーマについて様々な角度からの研究発表として、課題研究 21 件、自由研究 24 件が予定されています。また、本年 6 月から北海道でも放送開始になった地上デジタル放送に関連し、シンポジウム「デジタル放送は教育を変えるか」を開催します。

会員の皆様のご協力により電子メールによる登録・原稿提出を、今大会から導入することができたことをお礼申し上げます。

さて、北海道教育大学は、全国面積の約 2 割を占める北海道の 5 都市（札幌、函館、旭川、釧路、岩見沢）にキャンパスがあり、会場である“あいの里キャンパス”は、札幌市中心部より JR 学園都市線で 30 分の郊外に位置します。そのため、交通アクセス、飲食などで不便をおかけすることがあるかと思いますが、どうぞご理解くださいますようお願いいたします。

ところで、本学教育実践総合センターの前身である教育工学センター設立当初の昭和 40 年代後半、教育実習に関連した「CCTV の利用」、「ビデオ教材の開発」、「放送教育における RA の利用」などが主な研究テーマでした。この際、温故知新、不易流行をキーワードに、本大会のテーマである「教育におけるメディアを介したコミュニケーション」の歩みをふりかえることも意義深いと考えます。

アナログとデジタルが共存するハイブリッドな時代にあつて、教育とメディアに関する学会であるからこそ、リアルな face to face のコミュニケーションがより大切であると考えます。最も食材が豊富になる初秋の候、教育における人とメディアの関わり方などについて、大いに議論していただくとともに、北の大地の恵みを存分に満喫していただければ幸いです。

第 13 回年次大会実行委員長
瀬川良明（北海道教育大学教育実践総合センター）

大会案内

1. 大会期日・会場

日時：2006年10月14日（土）、15日（日）

会場：札幌サンプラザ（14日午前のみ）

北海道教育大学札幌校（14日午後・15日）

2. 受付

受付場所 講義棟3階ホール

受付時間 14日（12時～）

15日（8時30分～）

大会参加費 一般 6,000円（論文集代を含む）

学生会員・臨時会員 4,000円（論文集代を含む）

論文集代 2,500円（送料は別途500円）

懇親会費 4,000円

3. 控室

講義棟3階308教室をご利用ください。荷物のお預かりはしていません。

4. 総会

日時：10月15日（日）11時15分～

会場：講義棟3階（305教室）

5. 懇親会

日時：10月14日（土）17時30分～

会場：小ホール（福利厚生施設2階）

会費：4,000円 当日参加申し込みもできます。

6. 昼食

週末のため学内食堂を利用できません。予約された方には、当日受付でお渡しします。なお、大学前にコンビニの他、そば、ラーメン、寿司店があります。

7. 喫煙

学内の指定場所以外は全面禁煙です。最寄りの指定場所は、講義棟2階喫煙コーナーです。学内に煙草の自動販売機はありません。

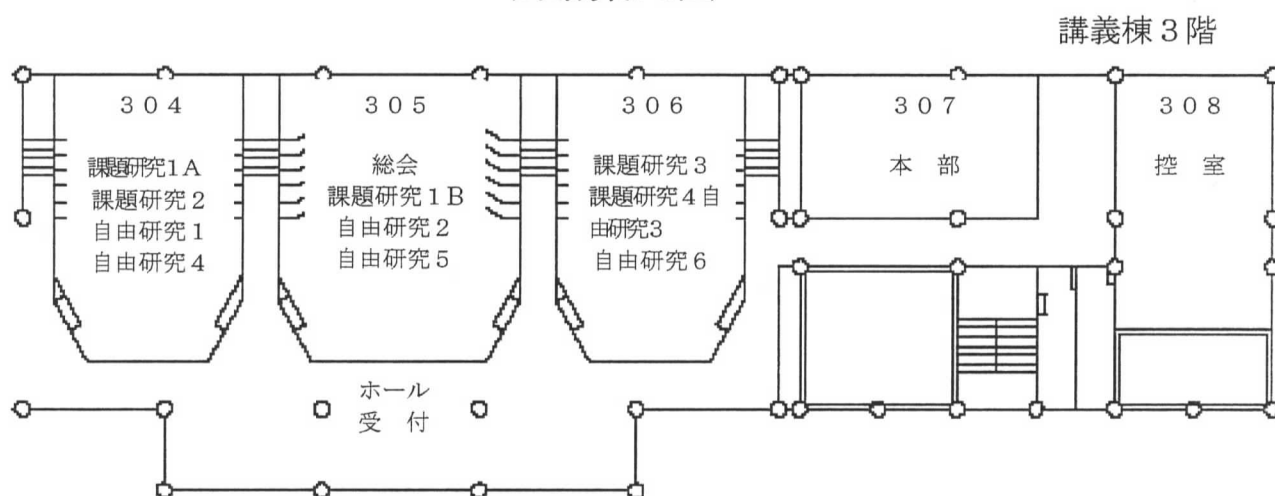
8. インターネット

図書館（講義棟2階）入口前新聞コーナーのコンピュータを利用できます。

9. その他

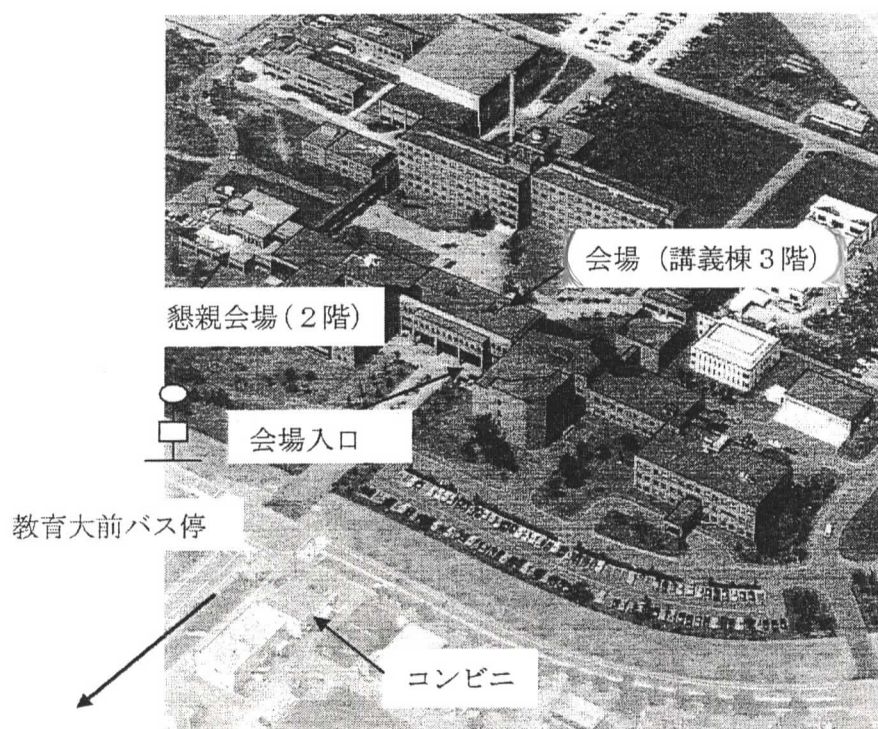
コピー（有料）は福利厚生施設1階の自動販売機コーナーを利用できます。大会本部は307教室です。

会場案内図



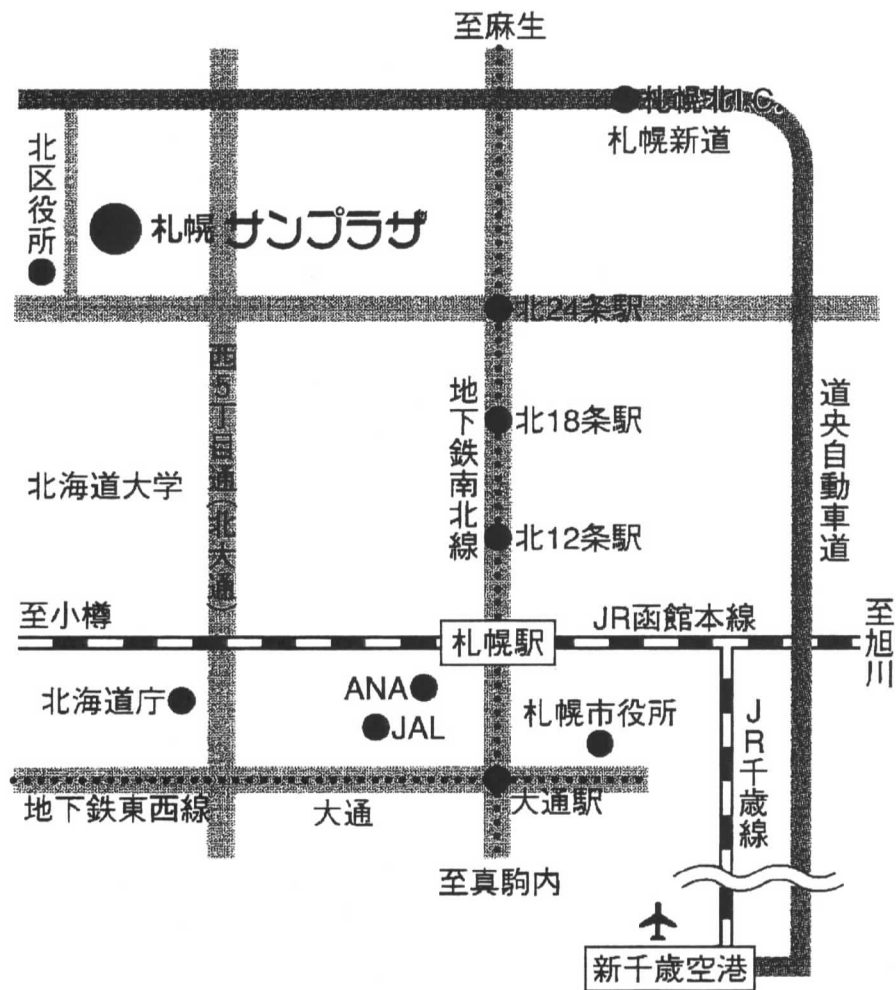
- 304教室：課題研究1A、課題研究2、自由研究1、自由研究4
- 305教室：課題研究1B、自由研究2、自由研究5、総会
- 306教室：課題研究3、課題研究4、自由研究6
- 307教室：大会本部
- 308教室：控室
- ホール：受付

あいの里キャンパス地図



J Rあいの里教育大駅方面 (約 1.5km) 徒歩 20 分

札幌サンプラザ (14日午前中会場)

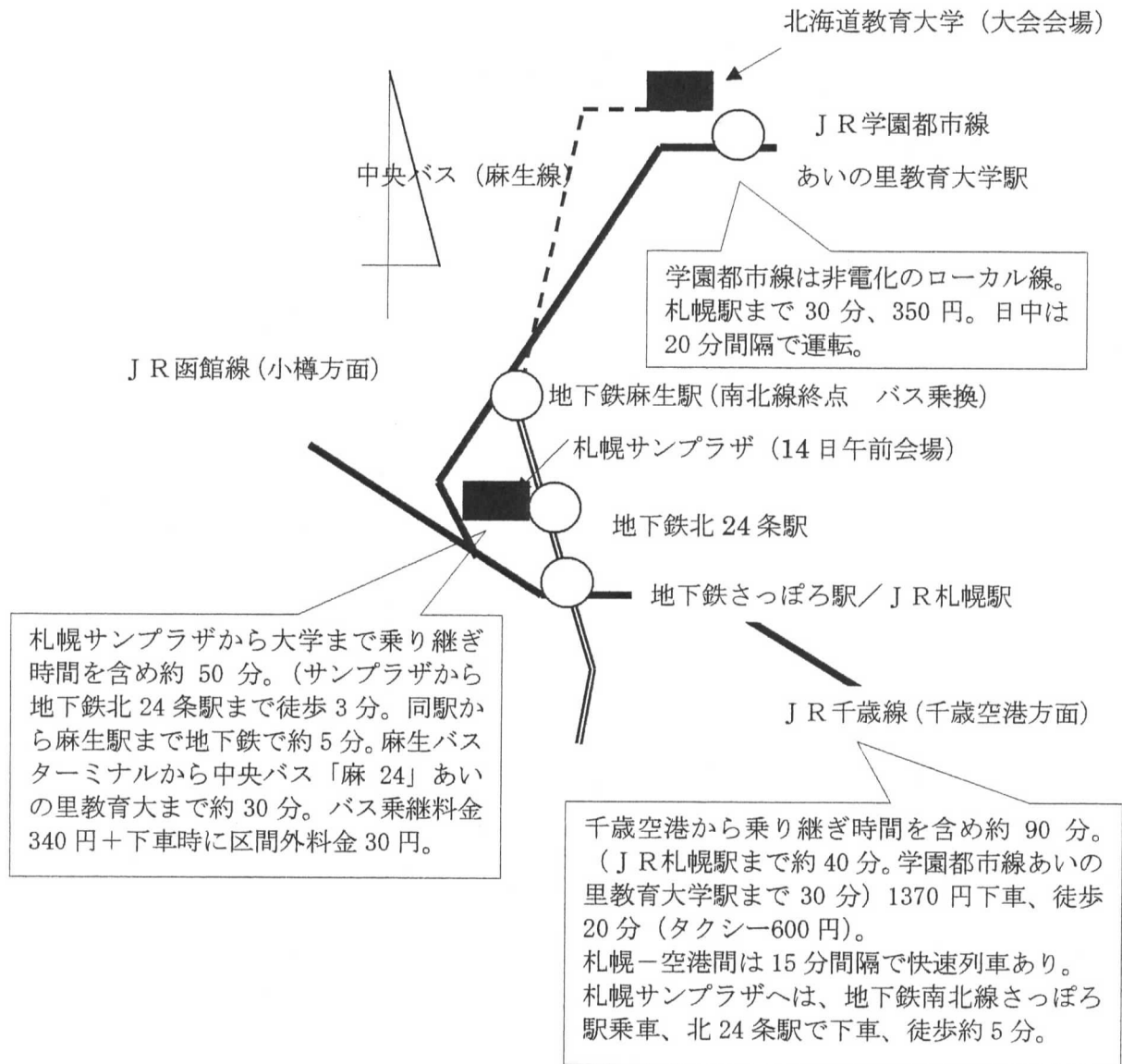


住所：札幌市北区北24条西5丁目

電話：011-758-3119

交通：地下鉄南北線「さっぽろ」駅から「北24条駅」下車（200円）
徒歩3分

札幌市全体地図



JR 時刻表

千歳線

下り		上り	
新千歳空港 → 札幌	時	札幌 → 新千歳空港	
*06, 27, 36, 51	7	06, *21, 35, 52	
*16, 34, 49	8	10, 25, 40, 55	
04, 19, 34, 49	9	10, 25, 40, 55	
04, 19, 34, 49	10	10, 25, 40, 55	
04, 19, 34, 49	11	10, 25, 40, 55	
04, 19, 34, 49	12	10, 25, 40, 55	
04, 19, 34, 49	13	10, 25, 40, 55	
04, 19, 34, 49	14	10, 25, 40, 55	
04, 19, 34, 49	15	10, 25, 40, 55	
04, 19, 34, 49	16	10, 25, 40, 55	
04, 19, 34, 49	17	10, 25, 40, 55	
04, 19, 34, 49	18	10, 25, 40, 55	
04, 19, 34, 49	19	10, 25, 40, 55	
04, 19, 34, 49	20	*08, *20, 45	
12, 30, 50	21	*00, *15, *30, *47	

*以外は快速

札幌線 (学園都市線)

下り		上り	
札幌 → あいの里教育大	時	あいの里教育大 → 札幌	
20, 43	7	略	
01, 12, 29, 55	8	略	
28, 55	9	略	
20, 40	10	04, 25, 43	
00, 20, 40	11	07, 23, 44	
00, 20, 40	12	03, 23, 42	
00, 20, 40	13	03, 26, 45	
00, 20, 40	14	06, 31, 44	
00, 20, 40	15	12, 34	
00, 20, 40	16	02, 16, 26, 45	
略	17	04, 25, 45	
略	18	03, 24, 44	
略	19	05, 43	
略	20	10, 42	

すべて各駅停車

発表者への案内

1. 自由研究の発表時間は30分（発表20分、質疑8分、交代2分）とします。
シンポジウム、課題研究の発表は座長にお任せしております。
補助者が15分で1鈴、20分で2鈴、28分で3鈴の合図をします。
2. 補足資料のある方は発表時間の前に補助者にお渡しください。
3. 各会場にプロジェクタ、VTR（VHS）、MS_Office2000がインストールされたパソコンを準備します。それ以外の機材などについては各自でご用意ください。
4. 発表取り消し、欠席者が出た場合には、繰上げは行なわれず、質疑、討論などに当てます。

座長・コーディネータへのお願い

1. 自由研究
 - ・セッション毎にお二人の座長をお願いしております。当日ご相談のうえご進行をお願いいたします。
 - ・各会場に補助者をつけます。
 - ・3つのセッションが同時進行しており、発表時間で会場を移動される会員がおられます。予定時間での進行にご協力をお願いいたします。
 - ・発表時間は30分（発表20分、質疑8分、交代2分）です。
 - 第1鈴 15分経過「残り5分です」
 - 第2鈴 20分経過「質疑の時間です」
 - 第3鈴 28分経過「質疑を終了してください」
2. 課題研究
コーディネータ、司会にお任せします。
3. 発表取り消し、欠席者が出た場合には、繰上げは行なわず、質疑、討論などに当ててください。

日程および会場

大会第1日目 10月14日(土)

9:30-12:00 共同企画 会場：札幌サンプラザ ※

共同企画シンポジウム「小学校英語の課題と可能性」

司会：磯野洋好（NHK）

コーディネータ：福田哲夫

登壇者1：トム・マーナー（麗澤大学）

登壇者2：磯野洋好（NHK）

登壇者3：北條礼子（上越教育大学）

登壇者4：小平さち子（NHK放送文化研究所）

登壇者5：神林裕子（札幌市立屯田南小学校）

12:00- 受付 3階ロビー 以下の会場はすべて北海道教育大学札幌校

13:00-15:00 課題研究1・3

課題研究1「教育メディア関連の教育／研修の内容と方法」A（304教室）

座長：中野照海（国際基督教大学）

K1-1 国内外におけるオンラインによる研修プログラムに関する事例研究：メディア教育の視点から

宮添輝美（国際基督教大学大学院）

K1-2 教育メディア研修カリキュラムのための標準の作成－1 その背景と方法－
○中野照海（国際基督教大学）・吉田広毅（常葉学園大学）・松野成孝（さわかちば県民プラザ）

K1-3 教育メディア研修カリキュラムのための標準作成－2 基礎調査とカリキュラム－

○吉田広毅（常葉学園大学）・中野照海（国際基督教大学）・松野成孝（さわかちば県民プラザ）

K1-4 国際協力の場における教育メディア関連第3国研修の新しい形での実施例
大作勝（長崎大学）

K1-5 メディア利用でこまったこと・よいことのアナウンス調査結果
大河原清（岩手大学）

課題研究1「教育メディア関連の教育／研修の内容と方法」B（305教室）

座長：市川昌（江戸川大学）

K1-6 戦後民主化とメディアの社会的責任－放送教育における集団視聴の歴史を考
える

市川昌（江戸川大学）

K1-7 多人数を対象とした教育メディア関連授業改善の試み－授業者と受講生の意
志疎通を図るためのコミュニケーションカードの活用

○南部昌敏（上越教育大学）・浦野弘（秋田大学）

K1-8 情報技術を活用して表現力（感性表現・企画力）を育成するための指導技術
の改善

○岡部昌樹（金沢星稜大学）・村井万寿夫（金沢星稜大学）

K1-9 高校情報科における放送番組教材を活用した学習効果と展望
小林道夫（神奈川大学附属中高等学校）

課題研究3 「英語教育における放送・メディアの活用」 (306 教室)
座長：篠原文陽児（東京学芸大学）

- K3-1 統合的コミュニケーションによる小学校英語教育－桐蔭学園小学部の試み
赤堀正宜（桐蔭横浜大学）
- K3-2 中学校選択英語科ライティング学習における教授ツールとしてのポートフォリオの効果の検討－教員養成系大学学部生とのEメール交換の事例をとおして
○松崎邦守（上越教育大学大学院）・北条礼子（上越教育大学）
- K3-3 英語教育に果たしたメディアの略史
宇佐美昇三（日本大学芸術学部）

15:15-17:15 自由研究1・2・3

自由研究1 (304 教室) 座長：堀田博史・中橋雄

- J1-1 幼稚園・保育所向け番組のデジタル教材の開発 (1)
堀田博史（園田学園女子大学）
- J1-2 中学校の教育実践における ICT 活用の類型化
○中橋雄（福山大学）・戸田就介（関西大学大学院）・内垣戸貴之（関西大学大学院）・久保田賢一（関西大学）・水越敏行（関西大学）
- J1-3 電子情報ボードを活用した聴覚障害生徒の国語の学習に関する一考察
金子俊明（筑波大学附属聾学校）
- J1-4 教科「情報」における目標準拠評価についての事例分析
山室公司（関西大学大学院）

自由研究2 (305 教室) 座長：浦野弘・後藤康志

- J2-1 メディア・リテラシー教育の実践と評価
○浅井和行（京都教育大学）、久保田賢一（関西大学）
- J2-2 現職教員を対象としたビジュアル・リテラシー研修プログラムの試み
○浦野弘（秋田大学）・南部昌敏（上越教育大学）
- J2-3 教師のメディアリテラシーの育成を目指した研修カリキュラムの開発
丸山裕輔（新潟大学大学院）
- J2-4 メディアリテラシーの構造：多母集団同時分析を用いて
後藤康志（新潟医療福祉大学）

自由研究3 (306 教室) 座長：佐賀啓男・篠原文陽児

- J3-1 大学生のメディア利用に関する調査研究
○境野大地（上越教育大学大学院）・北条礼子（上越教育大学）
- J3-2 ウェブに見る関東甲信越私立大学のFD活動
佐賀啓男（メディア教育開発センター）
- J3-3 教育養成大学における授業「情報処理」の目標と演習課題に関する基礎的研究(2)
篠原文陽児（東京学芸大学）

J3-4 学力向上を志向した放送教育の展開ーその意義・モデル・実践事例ー
○竹下佳奈（全放連）・木原俊行（大阪市立大学）

17:30-19:00 懇親会（小ホール）

大会第2日目 10月15日（日）

8:30- 受付 3階ロビー

9:00-11:00 課題研究2・4

課題研究2「教育メディアの理論と方法」（304教室）

座長：小笠原喜康（日本大学）

K2-1 教育メディア研究の方向性を考える「モード論」と「メディア概念の拡張」
の視点から

久保田賢一（関西大学）

K2-2 PISA型読解力を視野に入れたメディア論の試み

稲井達也（筑波大学大学院）

K2-3 メディアが教育に利用された負の歴史研究

朝倉徹（東海大学）

K2-4 放送番組を用いた社会科の授業が教師と児童に与える効果

○村井万寿夫（金沢星稜大学）・中川一史（金沢大学）

K2-5 ジェンダーと文化の違いによるICT意識および利用の差：韓国と日本の学校
生徒を比較して

○Insung Jung（国際基督教大学）・Yuran SEO（国際基督教大学大学院）

課題研究4「モバイルメディアと教育」（306教室）

座長：黒上晴夫（関西大学）

K4-1 学校と社会教育施設における学習環境を持続するための携帯情報端末を活用
した実践のデザイン

○石塚丈春（静岡大学）・堀田龍也（メディア教育開発センター）・高田浩
二（海の中道海洋生態科学館）

K4-2 携帯電話のメール機能を利用した連絡システムの運用と評価～学校と保護者
をつなぐコミュニケーションツールとして～

○佐和伸明（柏市立旭東小学校）・中川一史（金沢大学）

K4-3 学校外での携帯電話利用：教育実践研究における利用ログの分析

○北村智（東京大学大学院）・地引泰人（東京大学大学院）・秋山大志（ベネッセ
コーポレーション）・堀田龍也（メディア教育開発センター）・山内祐平（東京
大学）

K4-4 学習環境デザインにおけるモバイル技術の役割

山内祐平（東京大学）

11:15-12:00 総会（305教室）

12:00-13:00 昼食

13:00-15:00 シンポジウム

シンポジウム「デジタル放送は教育を変えるか」(306 教室)

司会: 生田孝至(新潟大学)

説明: 秋元大輔(文部科学省)「文部科学省地上デジタルテレビ放送の教育活用促進事業」

討論者: 黒上晴夫(関西大学)

菊江賢治(NHKエンタープライズ)

下田昌嗣(松下教育研究財団)

15:15-17:15 自由研究4・5・6

自由研究4(304 教室)

座長: 久保田賢一・影戸誠

J4-1 学校生徒のICT活用パターンに当たるデジタル・メディア・リテラシー教育: 韓国と日本の学校生徒の場合

Yuran SEO(国際基督教大学大学院)

J4-2 パレスチナ難民キャンプにおける絵の交流を通じた国際交流学習—ICTを活用した交流学習の学習効果—

○今野貴之(関西大学大学院)・岸磨貴子(関西大学大学院)・久保田賢一(関西大学)

J4-3 ICTを利用した国際交流学習の学習効果とその要因—国際ボランティアとの国際交流学習の事例より—

○岸磨貴子(関西大学大学院)・久保田賢一(関西大学)

J4-4 国際交流活動の基本モデル—10年の実践による発見—

影戸誠(日本福祉大学)

自由研究5(305 教室)

座長: 澤田敬人・小田茂一

J5-1 映像理論としてのテクノロジーと鑑賞教育の方法—E.パノフスキーによる美術と映像の生涯学習

市川昌(江戸川大学)

J5-2 楽観的テレビ番組視聴による社会関係資本としての信頼の形成

澤田敬人(静岡県立大学)

J5-3 「鑑賞授業」における作品選択および指導者の意義

小田茂一(愛知淑徳大学)

自由研究6(306 教室)

座長: 大西誠・三橋功一

J6-1 社会的表現能力を高める映像教育(2)

大西誠(愛知淑徳大学)

J6-2 総合的な学習の時間を活用した映像表現教育(1)

瀬川良明(北海道教育大学)

J6-3 授業研究・授業設計のための授業記録の資料化の検討

三橋功一(北海道教育大学)

【学会誌編集委員会から】

学会の機関誌である「教育メディア研究」は、常時、投稿原稿を受け付けております。

学会ホームページから、投稿に必要な書類をダウンロードし、原本とコピーを含めて4部、原本の記録されたフロッピーディスクセットやCD-ROM、投稿票、書留による郵送など、必要事項を十分にご確認の上、ご投稿ください。

皆様のご投稿をお待ちしております。

投稿先住所等： 184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

東京学芸大学教育学研究室内

日本教育メディア学会事務局内学会誌編集委員会

【新入会員】

石塚 丈晴（静岡大学）、小田 茂一（愛知淑徳大学）、影戸 誠（日本福祉大学）、塚野 弘明（岩手大学）、中村 泰之（太田区立矢口小学校）、山際 耕英（東近江市立能登川中学校）、吉崎 弘一（園田学園女子大学）、杉本 耕一（東大阪大学敬愛高等学校）、松崎 邦守（千葉県柏市立高柳中学校）、田邊 則彦（慶應義塾大学湘南藤沢中高等部）、吉田 裕典（東京大学大学院）、今野 貴之（関西大学大学院）、境野 大地（上越教育大学大学院）、山室 公司（関西大学大学院）、小林 道夫（神奈川大学附属中高等学校）、徐 裕蘭（国際基督教大学大学院）、柴山 英樹（聖徳大学）、宮添 輝美（立教大学）、三橋功一（北海道教育大学）、北村智（東京大学大学院）

<会員総数>

正会員	352名
学生会員	23名
団体会員	7団体
購読会員	8会員(機関)

(2006年9月1日現在)



◆ 学会費納入のお願い ◆

2006年度（2006年4月1日から2007年3月31日）会費納入は、年次大会会場でも受け付けておりますので、会費未納の方は、会場の事務局での納入をお願いいたします。また、納入の確認もできますので会場内の学会事務局にお立ち寄り下さい。年会費は7,000円となっております。また、会場では新入会員の受付手続きもしておりますので、これを機会に、まだ学会員でない方へぜひ入会をお勧め下さい。

日本教育メディア学会 事務局	
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1 東京学芸大学教育学研究室内	
電話 042-329-7344	
学会ホームページ URL http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaems/	
E-メール shijaems@u-gakugei.ac.jp 郵便振替口座 00130-4-103021	